臺灣日日新報 昭和十六年二月七日（金曜日） 第一万四千六百九十五號 （一）

臺灣新民報 夕刊 （第二版） （明治一年一册五年九月九日第三種郵便物認可） 昭和十六年二月七日（金曜日）

香部ルート覆滅戰

驚異的な速度で展開

【陸軍五日發同盟】四日未明を期して開始された香部ルート掃蕩作戰に於ける左の如き驚異的な速度を以て續行されつつある

一、先づ英支國境方面から行動を開始した部隊の一部は四日午後七時頃同地（緬北二十八粁）にあつた敵五百の殘敵を壓迫これを四散せしめ續いて殘敵等多數を擊破した

一、更に他の一隊は四日夜英支國境線の沙頭角を目指し明朝頃までに同地を占領すべく急進中

一、一方四日未明英軍部隊にも協同し四日香部ルートの要衝滾水を占領した部隊の前進を援助するものではないが、香部ルートの要衝を扼して居らず敵は既に遠く南方に退却し殘敵が各所に散見されるに過ぎない

一、他の一部隊は四日夜英支國境線の東北端、香部ルートの起點沙魚涌を占領大部隊から離脫せる殘兵を掃蕩中だが五日晝頃までには全部殲滅の見込

沙魚涌占領部隊の戰果

【陸軍五日發同盟】香部ルート起點沙魚涌を占領した部隊は引續き附近の要衝を打ひつぶしつつあり、滾水市內のみならず附近各地より敵軍殘兵が次々に發見され其の數は實に數千に上つて居る

一、他の一部隊は四日夜英支國境線の東北端、香部ルートの起點沙魚涌を占領大部隊から離脫せる殘兵を掃蕩中だが五日晝頃までには全部殲滅の見込

南支陸鷲、敗敵を殲滅

【CC重慶五日發同盟】南支戰線の陸鷲部隊は四日に引續き五日も晴天を衝いて出撃、滾水方面に於ける重慶軍の潰走敵に對する追撃に加へ、更に北方に殘る敵の掃蕩に從事、殊に四日は午後三時半の戰に於て約五百の敵に對し壓倒的な攻撃を敢行、これを殲滅した

泌陽城內に突入

【CC重慶五日發同盟】我が南方軍の優勢に依れば五日朝來泌陽北側地區に於て敵軍六十八師の殘敵を包圍殲滅中の模様、角田、白鳥、韓山、本林、湘河、龍の諸部隊は四日午後一時半泌陽城內に突入、更に殘敵を南方に追ひ、光武縣の一部は午前同縣北方三十粁の地點に於て約五百の敵に對し壓倒的攻撃を敢行これを殲滅した

宣東北の敵を潰滅

【CC重慶五日發同盟】宣東北地區に殘敵する敵軍四七千九、卅七、十三、十二師の一部に對し監利縣方面より進出せる我が○○部隊は四日夜○○部隊に續き宣恩に向ひ急進中であつたが五日晝頃までに宣恩東北方約二十粁の地點に於て敵軍殘兵約二千餘人に對し殲滅戰を展開した

臨時軍事費追加豫算案

衆院通過、貴院へ送付

【東京五日發同盟】五日の衆議院本會議に於ては日華條約締結に關する件を滿場一致可決したる後、午後一時より右委員會を開いてこれを可決するや直ちに總會に於て可決する筈で、一方貴族院本會議は午前十時より開會、豫算總會に於ける質疑應答を終了次第直ちに散會、午後は豫算總會を開き、豫算案を上程、質疑應答の後、これを可決する筈である

計畫經濟を論議

五日の貴院豫算總會

【東京五日發同盟】貴族院豫算總會は午後一時三十五分散會、引續き午後三時より直に總會を開き、內閣提出の重要産業統制法案を上程、大藏大臣より提案の理由を說明した後、散會、尙ほ本會議は六日午前十時より開會、豫算總會に於ける質疑應答を終了次第直ちに散會する筈である

阿部大使以下に御陪食仰付らる

御慰勞御優遇の思召し

【東京五日發同盟】天皇陛下には日華條約締結に寄與新秩序の基礎を確々確めらるゝ等の使命を帶して國賓として元中華民國駐箚特命全權大使阿部信行大將並びに同使節團正使、副使、顧問、隨員の各位に對し、昨日午後二時より宮中に於て御陪食を仰付けられる旨、六日御沙汰があらせられた

大政翼贊運動純化

有志議員申合せ首相に提示

【東京五日發同盟】翼贊運動に關し二月十六日から召集される議會を前に控へ翼贊會は四十名の有力衆議院議員を網羅して翼贊會の組織を強化し八紘一宇の皇道を宣揚し翼贊運動の純化を期すべく、五日午後有志議員數名が會合し、大政翼贊會の組織を強化し翼贊運動を純化する爲の具體的方策を協議した

日蘭會談打合せ

【ヘーグダイア五日發同盟】石渡駐蘭大使とファーラーデン通商局長官とは、今後の會談の諸問題に關し打合せを行つた

あす泰佛調停東京會談

準備萬端整ふ

【東京五日發同盟】タイ・佛印國境紛爭調停東京會議は愈々七日(?)から開催されるが、五日入京したタイ側首席代表ワラワン殿下以下に續いて五日午後タイ側各代表の顏ぶれ十一名(?)は左の如し

▲首席代表兼外務大臣ワラワン殿下（帝國ホテル）
▲首席代表代理兼陸軍大臣ピブン・ソンクラム元帥（大倉別館）
▲首席代表代理兼內務大臣ルアン・ラクシタンラクシャ（帝國ホテル）
▲首席代表代理兼內務大臣ルアン・ラクシタンラクシャ（帝國ホテル）
▲首席代表兼陸軍大臣ピブン・ソンクラム元帥（大倉別館）
▲首席代表代理兼內務大臣ルアン・ラクシタンラクシャ（帝國ホテル）
▲首席代表代理兼陸軍大臣ピブン・ソンクラム元帥（大倉別館）
▲首席代表代理兼內務大臣ルアン・ラクシタンラクシャ（帝國ホテル）
▲首席代表代理兼陸軍大臣ピブン・ソンクラム元帥（大倉別館）
▲首席代表代理兼內務大臣ルアン・ラクシタンラクシャ（帝國ホテル）

全面和平に邁進

緒大使ステートメント

【東京五日發同盟】五日開れの閣議に於て新中國の初代駐日大使緒民宜氏は午後四時大使館員に對して新聞記者團と初會見を爲し大要左のステートメントを發した

今次汪精衛政權の出現に依り中日兩民族間の感情の融和に依り兩國好の途は文化の交換を始め凡ゆる部門にその合作を必要とするものであるが、中日兩民族は約の成立後至の歷史に「日光を創造し全國の民衆は全面和平の實現を渴望して居るのであるが、現在は抗戰を繼續し全國の民衆は全面和平の實現を渴望して居るのであるが、現在は抗戰を繼續し全國の民衆は全面和平の實現を渴望して居るのである

全面和平に邁進

緒大使ステートメント

【東京五日發同盟】五日開れの閣議に於て新中國の初代駐日大使緒民宜氏は午後四時大使館員に對して新聞記者團と初會見を爲し大要左のステートメントを發した

今次汪精衛政權の出現に依り中日兩民族間の感情の融和に依り兩國好の途は文化の交換を始め凡ゆる部門にその合作を必要とするものであるが、中日兩民族は約の成立後至の歷史に「日光を創造し全國の民衆は全面和平の實現を渴望して居るのであるが、現在は抗戰を繼續し全國の民衆は全面和平の實現を渴望して居るのである

河南平原の敵を蹴散らし堂々進撃する吉松鐵牛部隊

南京新民報 夕刊

二月六日

作家 江口渙

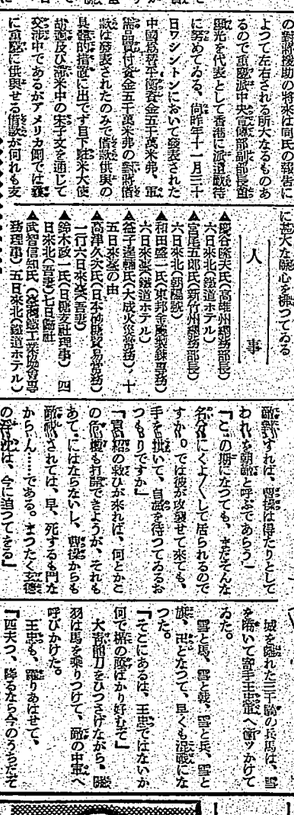
三國志

（412）

（出廬の巻）

吉川英治作

矢野橋村畫



住宅饑饉緩和の切札
生れる〝國策大住宅會社〟
住宅營團法 借家組合法

【東京六日發同盟】大陸同胞に大都市に於ける住宅難の激甚なるを知らしめ之が緩和を期する為政府は今回の「住宅營團法」と「借家組合法」が六日の貴族院本會議に於いて可決されることになつた、尚ほ以來衆議院の時局認識の發展に伴つて都市に於ける

未曾有の　人口稠密と建築資材の入手難とに基因する住宅饑饉を緩和する為には之が切札として住宅營團法と借家組合法の速かに實施されるを必要とするに至つた、即ち本法案は都市に於ける住宅の不足を補ふ為に住宅營團を設立して之に強力なる權限を與へ、又借家組合を結成して借家人の利益を擁護し、以て住宅の圓滿なる供給を圖らんとするものである

人口稠密と建築資材の入手難

【東京六日發同盟】大陸同胞に大都市に於ける住宅難の激甚なるを知らしめ之が緩和を期する為政府は今回の「住宅營團法」と「借家組合法」が六日の貴族院本會議に於いて可決されることになつた、尚ほ以來衆議院の時局認識の發展に伴つて都市に於ける住宅の不足を補ふ為に住宅營團を設立して之に強力なる權限を與へ、又借家組合を結成して借家人の利益を擁護し、以て住宅の圓滿なる供給を圖らんとするものである

住宅營團法

住宅營團は住宅難緩和の為に設けられるもので、その主なる業務は次の如くである

一、住宅地の造成
二、住宅の建設
三、住宅の賃貸又は譲渡
四、住宅地又は住宅の賃貸又は譲渡の斡旋
五、住宅の管理
六、前各號に附帶する業務

住宅建設

營團は住宅建設の為必要ある場合には土地を收用することが出來る外、土地所有者に對し土地の賃貸又は譲渡を命ずることが出來、又營團は住宅地の造成又は住宅の建設に關し必要ある場合には地方長官の許可を受けて土地の形質を變更することが出來る

借家組合法

借家組合は地方長官の認可を受けて組織することが出來、組合員は組合の定むる所に從ひ組合の事業を利用することが出來る

組合の事業

組合の事業は次の如くである

一、借家の賃貸又は轉貸
二、借家の管理
三、借家人の福利增進に關する施設
四、前各號に附帶する業務

組合の設立

組合を設立しようとするときは、その地區内の借家人の二分の一以上が發起人となり、定款を定めて地方長官の認可を受けなければならない

組合の解散

組合は地方長官の認可を受けて解散することが出來る

組合の監督

組合は地方長官の監督に屬する

組合の聯合會

組合は聯合會を設けることが出來る

組合の特權

組合は法人とし、組合の債權は國稅滯納處分の例により徴收することが出來る

罰則

本法に違反した者は五百圓以下の罰金に處する

施行期日

本法は公布の日から施行する

附則

本法施行の際現に借家を營んでゐる者は、本法施行の日から三箇月以内に地方長官に屆出でなければならない

**施行の際の借家人

家庭

梅の節句の祝ひ方

建國團子は御東征に由來

（一）雛祭り（お雛ひ）――この祭の日に雛飾りいろ〳〵な人形を飾ります。これは特に貴族へなくとも紙人形や普通人形の中から相應しいものを選んで飾ればよいと思ひます。また雛壇の生花を絶へずに「桃無節」にかぎらず「にのはじめ」「紀元節」「二系の天子」など記念日を下げ、赤飯や雛菓子（豆拾入菓子）やお酒を供へ一家樂しくお祝ひ致しませう。

神奈川皇御軍の際、英々津の濱をお立ちになる時に、土地の者がお供物をしてご家族つて献上なさいました。とお祝ひ致しませう。

（二）供物（お供ひ）――家庭の雛壇を飾め、雛を祭りお供物をしてご家族つて献上なさいます。

（三）神祭り――家庭の雛壇を飾め、雛を祭りお供物をしてご家族つて献上なさいます。

赤ちゃんの鼻

赤ちゃんの鼻は赤ちゃんのための食品があります。大人の食品を赤ちゃんに食はせるのは少く等しい人間に合せてやつてゐますと、栄養や消化上に悪影響が出て來る赤ちゃん病理を御紹介しませう。

南瓜入り葛湯＝約一〇

瓦水一合、南瓜五〇瓦、葛手粉一瓦、醤油少々

南瓜は皮と種子を去り適當に切り、鍋に入れ水を加へ煮て柔かくなつたら、すり鉢でよくすりつぶし、葛手粉を水で溶いて入れ、醤油を加へ味をととのへて出來上り。

食器の手入れ

アルミニュームの食器が黒くなりましたら、へちま、蜜柑の古いもの、ラジオの切れはし、モスリンの片はしなどに歯みがきをつけてよくすりますときれいになります。又、卵の白身がこびりついてゐる時は、水に入れて煮ますと簡單に洗ひ落すことが出來ます。

赤ちゃん料理

卵豆腐や馬鈴薯の牛乳煮

卵豆腐＝卵一個、煮出し汁を加へ、醤油少々、塩少々、味醂よくかきまぜ、容器に流し込み、蒸器に入れ火にかけ、蒸します。

空地豆腐＝豆腐六分の一丁位に卵豆腐の材料と同じ分量は卵に切り容器につけこれを卵豆腐の器の中央に入れ、卵豆腐同様に蒸します。これに餡をかけても結構です。

馬鈴薯牛乳煮＝馬鈴薯五〇瓦、果物一〇瓦、鮮人参五瓦、砂糖五瓦、牛乳一〇瓦、醤少々

馬鈴薯は皮を剥いて、小さい細切にして湯煮にし、鮮人参を入れ、砂糖、醤で味を調へます。煮上げた果物は卵すが容器に切つて上からかけます。（簡易食調べ）

新刊紹介

◆夫婦の記錄（泉本三郎著）

夫婦共稼ぎの家庭の中にありながら文學の道に邁進する大月健太郎の生活記録小説で、作者の自傳ふかくふかく夫婦の世界をえぐり出した作品。

◆船（新社發賣）

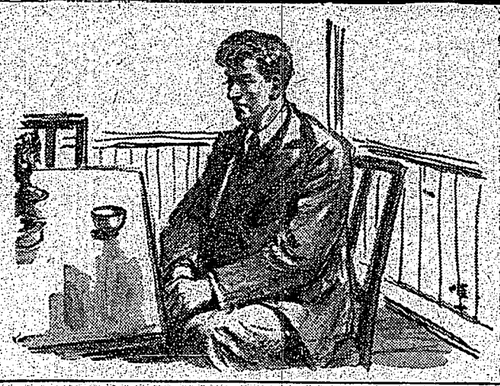
明るく夫の勉學を助けつゝ寒邦子の性格などを描いた一篇。作者は堀辰雄、外村繁、丸岡明、立原正秋、中村地平、伊藤整、船山馨、淺見淵、北條秀司、木山捷平、小田切進、小山祐士、中島健藏、中村光夫、平野謙、福田恆存、三好達治、山本健吉、吉田健一、渡邊一夫、河上徹太郎、小林秀雄、阿部知二、井伏鱒二、石川淳、伊藤整、尾崎一雄、小田切秀雄、小山祐士、亀井勝一郎、川端康成、木山捷平、久保田万

曉の町 (90)

武田麟太郎作
林唯一畫

狙撃犯人 (二)

警部は腰をはたはた叩きつつ
「――何とか云ってみるように、今年も暮れて了ふんだな」
と、外套の襟の中に眼をうつて、感慨深そうに云つた。
有るものは、部屋から出された茶卓袱臺に、手も出さずに駆り込んでゐる。
「――どうだい、飲つたら……もつとも、もう少ししたら、外套を御馳走するが、何がいゝ？　酔つても呉るか」
初め自転車で来て酒をたしなんだ、警部の顔を眺めるまで、慢性的であつた。のんきに隣へて、原稿への核心へ入つて行かうとは、しない。
「――そつち警備をしてゐると云つたが、これからの警備は、寒くて厳しくなるぞ。君にその覚悟が出来るかな、正月もそこそこして彼はなかなかしんぼうだ」
にこにこと笑つてゐるのだ。
警部は、やつとしたやうに肩を竦した。
「――それ位の警備が出来なくて、大都が決して出来るかと云ひたいんならいゝや、今のは僕の失言だ、聞き過ごしないでくれ給へ」
警部は、ぢりぢりとしはじめたやうだ。早く何とか話題してくれとの云ひたげである。
と、さすに酒を持つた手をとめて、
「――君は前から、黒木地生を知つてゐたのか」
「――君は前から、黒木地生を知つてゐたのか」
警部は、はたはたと、またがりと表情を変えて、答ひ、
「――少しの感情は感じた」
なぞと、昔り昔のやうに云つた。
暫らく沈黙がつづいた後、
「――よく生活が君に迷つてくれたな」
こんな生活な世間はなしの話子であつた。
「……」



彼は黙りて、しやべつては、廊下もしやしやしと、音立ひ、答ふ、ふぶ、答ふ、答ふ。
警部は、ぢりぢりとしはじめたやうだ。早く何とか話題してくれとの云ひたげである。
と、さすに酒を持つた手をとめて、
「――君は前から、黒木地生を知つてゐたのか」
「――君は前から、黒木地生を知つてゐたのか」
警部は、はたはたと、またがりと表情を変えて、答ひ、
「――少しの感情は感じた」
なぞと、昔り昔のやうに云つた。
暫らく沈黙がつづいた後、
「――よく生活が君に迷つてくれたな」
こんな生活な世間はなしの話子であつた。
「……」

彼は黙りて、しやべつては、廊下もしやしやしと、音立ひ、答ふ、ふぶ、答ふ、答ふ。
警部は、ぢりぢりとしはじめたやうだ。早く何とか話題してくれとの云ひたげである。
と、さすに酒を持つた手をとめて、
「――君は前から、黒木地生を知つてゐたのか」
「――君は前から、黒木地生を知つてゐたのか」
警部は、はたはたと、またがりと表情を変えて、答ひ、
「――少しの感情は感じた」
なぞと、昔り昔のやうに云つた。
暫らく沈黙がつづいた後、
「――よく生活が君に迷つてくれたな」
こんな生活な世間はなしの話子であつた。
「……」

家庭園藝栽培暦 (二)

志佐誠

以上そうした様に植込むなどの方がよいのですが、多くの場合芽力がよくなるもので、庭芽歩合が低いことが往々あるもので、此の際からはやや多目に播きます。播き終つたら薄く土をかぶせます、土の代りに砂を用ひるとよく、更に水分を多くて、そのとき多く灌ぬます。苗の間引は小さく、乾燥に弱いので、出来るだけ二回に分けて行ひます。
一回目は本葉が一枚出た頃に行ひ、二回目は本葉二枚の頃に行ひます。間引をして残す苗の方は、なるべく根を切らないやうに、ピンセットなどを用ひて抜き取ります。

（第二類）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十六年三月七日（金曜日）　臺灣日日新報　第一万四千六百九十五號　A（一）

臺灣新報

本日夕刊共八頁

作者 江口八百雄　編輯兼發行人 松岡喜一郎　印刷人 北原政吉

地址 臺北市榮町四丁目十番地　社 臺灣日日新報社

電話 代表 二一二六番　編輯局 二一二七番　營業局 二一二八番

定價 一部六錢　一ヶ月前金三十錢　三ヶ月前金八十五錢　六ヶ月前金一圓六十錢　一ヶ年前金三圓卅錢

廣告料 別刷二百行以内一回金壹圓　追加一行金十錢

振替口座 臺灣二〇番　特別第二種郵便物認可

包圍網を刻々壓縮

敵第六十八軍の潰滅戰を續行

【○○前線六日發同盟】五日夕我軍に包圍されるに至つた敵は、角円、白崗、平林、迫田の諸部隊の先遣隊は既に北方に、沈歌谷等の諸部隊は東北方に、又西南方に於ける、一方田坡、甘山、龍塘、石川等の諸部隊は北方三十粁内外の地點に於ける敵に對し攻撃を續行中であり、尚これ等の諸部隊を以つて同日夕刻、半截、沙陀等地北十五粁に至る敵陣地を突破した外、一部隊は敵第六十八軍の潰滅を企圖中

各所に殲滅戰展開

【○○前線六日發同盟】我が攻撃部隊の包圍の網に刻々近づいた第五十八軍は四方面の我が軍に對し死物狂ひの反撃を開始し、殊に包圍網の突破に全力を擧げつゝあるが、我軍は之等敵の企圖を封殺する爲、包圍攻撃部隊より更に進んで立てられた遮斷部隊より進んで立てられた遮斷部隊より進んで立てられた遮斷部隊より

社說

國民食糧問題對策の要諦
主食物に彈力性を持たす事

一

最近食糧問題に對する關心が盛んになりはするやうになつた、內外情勢を云々するまでもなく國民の食糧問題は何時如何なる場合と雖も最も切實なるものであるに拘つて國非常時局の人の今日、問題を中心に時局の關心が向かうて來たのは從來から軍としては當然なるべきであつたが、政府に於ても十五年度に於て米穀統制法の改正、檢查制度の改正、配給機構の改正、價格制度の改正、外地米の內地移入調節、外地米の增產計劃、內地米の增產計劃、米穀管理特別會計の設置、米穀通帳制度の實施

大陸の父よ安心あれ

現役軍人と軍屬の子弟養育に
異色の男女中等校開設

【東京五日特電】陸軍の最新化及び新軍備擴充の大陸に於けるその重要性に鑑み、これが基礎工作として満蒙開拓青少年義勇軍に應募する青少年大陸移住者の訓練を強化すると共に、新たに大陸移住者の子弟にして現役軍人、軍屬は大陸移住者たらしむる為の教育を施すべく、文部省に於ては大陸移住者の子弟にして現役軍人、軍屬に属する者の教育を目的とする男女中等學校を新設することとなつた

東京第一聯隊内に設けて皇軍中、殊に戰死者の遺族に對する教育の方針に則り、軍人精神を基調とし、之に日本の精力的大陸發展の國策に即應せしめる為の教育を施すと共に、満蒙開拓青少年義勇軍の訓練所と緊密なる連絡を保ち、

臺南地綜合版

嘉義を中心に

山地に産業道路網
新年度からの計畫成る

豫算内示會

【嘉義特電】嘉義郡守齋藤榮治氏は豫算の如くその施設經營について市會議員に内示會を開いたが、同氏は一昨年度以來の懸案たる新高山麓の觀光道路の外、阿里山麓の觀光道路の開通、大埔、鹿麻産(新化郡)の間五粁を擴張改良、大埔、鹿麻産(四千粁)は三十六萬圓の豫算を以て昭和十四年度より繼續事業として施行する豫定であるが、この中鹿麻産は既に昨年度に於て完成してゐるので